



# 原別地域まちづくり通信 第8号

原別地域まちづくりを進める会

平成30年3月31日発行



みんなで住みよい 楽しいまち(“わ”も“な”もあずましいまち)

私たちが  
目指すのは

1. 地域の絆 花香る水のまち原別
2. 自然と文化を楽しむ 地域参画のまち原別
3. 手をつなぎ 関わり合えるみんなのまち原別

## 守ろう命 東中学校で第4回避難所運営訓練 8.20



一日のスケジュール

- 7:00 起床
- 7:30 朝食
- 8:15 かたづけ
- 8:45 健康観察
- 12:00 昼食
- 17:00 片づけ
- 18:00 掃除
- 18:00 スクール
- 18:00 夕食
- 18:45 片づけ
- 19:00 健康観察
- 22:00 就寝

電気の消滅可。

＜ルール＞

- ・持ちまわらない
- ・声を出さない
- ・大声を出さない
- ・8時間を守る
- ・ごみを決められた場所に捨てる

・具合が悪い人は、学校内は禁煙  
すぐに教えること。たばこは指定は場所  
(体にかかると注意) オバットは持ちこみ  
禁止。  
・乳幼児のおむつ交換などは指定  
場所をしっかりとすること。お披露場所を利用すること。

案内

防災士、消防士、警察官、民生委員、PTA 等が学校と連携し合計 150 名で行いました。1 学年全員防災教育プログラム(シュミレーションゲーム、2・3 学年と地域住民を対象に HUG(避難所運営ゲーム)・身近な品を使った応急処置・トイレのデモンストレーション等を学び、全員で避難所を設営。地域での交流を深めながら協力し助け合う事の大切さ、世代に引き継ぐ責任と覚悟を強く感じました。 実行委員長 大坂美保(防災士)



# 原別まちづくりの計画

## ～地域計画の概要～

- 目的 原別地域に住む私たちが、元氣よく主体性を持って暮らすための取組方針であり、地域のことは地域で考えて決定し、実行するための取組みづくりをすること。
- 期間 平成30年度から平成34年度の5年間
- 区域 東部第二区連合町会区域（概ね原別小学校区）
- 主体 原別地域まちづくりを進める会
- 方法 住民参加型共同作業方式（ワークショップ方式）



計画策定ワークショップの様子

## 1. 地域計画の目的

■背景 人口減少や少子高齢化などの社会現象は、原別地域においても進んでいます。それは、地域における助け合いや支え合い、連帯感や一体感などの低下をもたらす「地域力」が減少する要因ともなっています。地域で元氣に安心して暮らすためには、地域コミュニティの活性化が求められています。

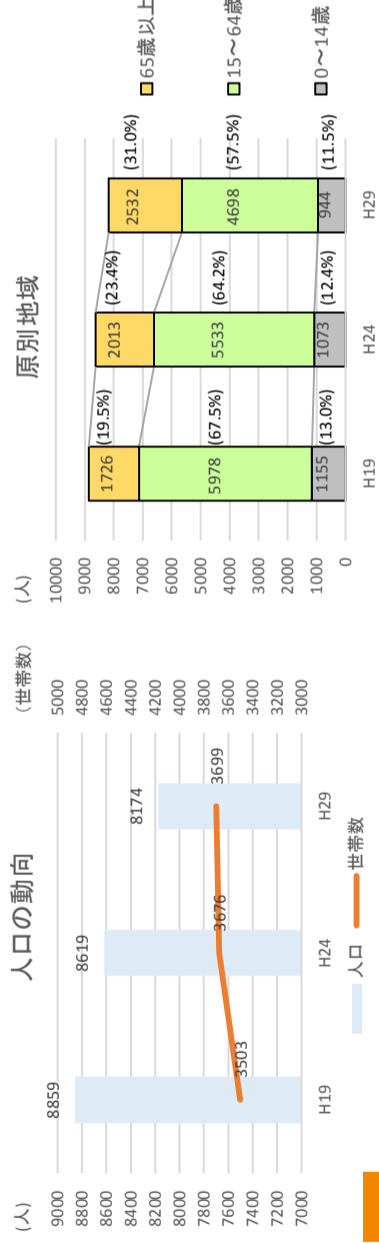
■目的 原別地域に住む私たちが、元氣よく主体性をもって暮らすための取組みの指針であり、地域のことは地域で考えて決定し、実行するための取組みづくりを目的としています。



原別地域大収穫祭の様子

## 2. 地域の社会的状況

■人口と世帯数の変動 平成19年度～平成29年度までの10年間で、原別地域全体の人口は約680人減少し、世帯数は約200世帯増加しています。また、世帯当たり人員は2.53人から2.21人に減少しています。



## 3. 地域の特徴

■地域の拠点 県立高校2校の最寄駅である矢田前駅と、北側の旧国道4号沿道が旧原別村の中心地区です。地域住民の文化・教養の向上、健康の増進、地域振興や交流の場として親しまれている東部市民センターもこの中心地区にあります。また、国道4号バイパスの本泉跨線橋西側のショッピングセンター付近から跨線橋東側にかけては地域の中心となる商業施設や金融機関が立地しています。

■特色ある施設や自然など 桑原にある青龍寺の昭和太仏、1375年頃に北畠(きたばたけ)顕能(あきよし)が建立したと伝えられる原別稻荷神社、地域に豊富な地下水を供給する原別取水井、地域との交流を積極的に進める青森東高等学校、毎年避難所運営訓練を続ける東中学校など、原別地区には様々な施設があります。また、遊歩道公園が整備、サケの産卵場でもある野内川、付近住民に親しまれる稲山などの自然にも恵まれています。



原別稻荷神社



昭和太仏

## 4. 地域課題の整理

■課題 総合的なまちづくり課題として、地域のみならず以下のような意見が出されました。

### 海・山・川の自然と水を生かしたまちづくりが必要

- 野内川の河川敷が整備されているのでもっと活用すべき
- 海・山の幸や田・畑の幸を一堂に集めて、地域産品の販売
- 水芭蕉をきれいに残していく工夫を考える
- ウォーキングコースの整備が必要
- 大のフンの後始末のマナーが悪い

### 防災を考えた地域コミュニティづくりが必要

- 東部市民センターを防災の拠点、避難所とすべき
- 学校と地域のつながりが大切
- 防災教育→大人→親・子供とつながっていく
- 防災キャンプや防災訓練を地域のイベントとすべき
- 空き家の増加
- 身寄りのない高齢者の増加

### 地域再発見マップづくり地域の活性化が必要

- 各ルートを統合して、歴史・文化・史跡を含んだ地域マップを作る
- 伝統（獅子舞、神楽、しめ縄など）の継承・伝承
- 子どもと地域住民の交流が少ない
- 原別の地域情報をインターネットを活用して地域情報を発信する
- 三世代交流が少なくなっている
- 子ども達の居場所が少ない

# 地域として何が必要か・何をすべきか・何ができるか

「良いところを大切に、課題が解決されたとき、私たちの地域はどのように変わっているのか？」を、地域計画のテーマ（スローガン）として設定し、3つの大きな項目からなる地域計画を策定しました。

## 計画のテーマ

# みんなで住みよい楽しいまち （“わ”も“な”もあずまじいまち）

## 1 地域の絆 花香る水のまち原別

- (1) 地域の歴史や文化を伝えるまち
  - 地域の歴史や文化コースを歩き、資源を再発見、マップを作る
  - 子どもたちに歴史・文化を伝えるための機会を作る
  - 地域を学ぶハイキングやウォーキングなどコースを設定する
  - しめ縄・もちつき（鱧もち）正月の伝統を守る
- (2) 水のまち
  - 原別稻荷神社の水芭蕉をPRする

## 2 自然と文化を楽しむ地域参画のまち原別

- (1) 海・山・川の自然を生かした地域交流
  - 11の町会合同で大収穫祭を開催する
  - 産直やフリーマーケットを地域のイベントに合わせて企画する
  - 大収穫祭で水産物の販売
  - 野内川の利活用（河川敷で芋煮会など）
- (2) スポーツ・レクリエーションの交流
  - 東岳登山・稲山ハイキング
- (3) 地域参画のとおりくみ
  - 地域のホームページ作成やブログ・SNS等を利用して情報発信をする

## 3 手をつなぎ隣りあえるみんなのまち

- (1) 地域の安全・安心
  - 稲山公園の整備
  - 空き家対策
  - 大のふんの処理マナー啓発
- (2) 防災対策
  - 学校・地域合同の避難所運営訓練や防災教育を実施し自主防災の推進を図る
  - 家族で防災について話し合う場を設けるなど防災意識を高める
- (3) 子供の見守りと高齢者対策
  - 子供たちの「見守り」体制を拡充する
  - 学校と地域との連携（見守り運動など）の第1歩としてあいさつ運動を推進する
  - 高齢者の支援や認知症予防のためのセミナーを企画する
  - 子供達向け認知症セミナーを企画する
  - 介護予防3ガの実施
  - 高齢者の集いの場づくり
  - 子供の居場所づくり、学習支援

# お祭り 第6回原別地域大収穫祭 10.29



原別地域まちづくりを進める会が発足して6年目を迎えました。地域住民や各団体の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。これまで、地元農家の野菜を中心に大収穫祭を開催、東中学校の協力による避難所運営訓練の実施や環境を守る活動、東岳登山やヨガ教室などを開催してきました。今後も地域の歴史と文化を重んじ、さらににぎわいのある原別地域を目指して行きます。**原別地域まちづくりを進める会会長 小笠原正勝**



青森中央短期  
大学附属  
第三幼稚園



原別小学校  
音楽部



東中学校  
合唱部



県立青森東  
高校吹奏楽部

### 原別地域まちづくりを進める会 平成 29 年度の主な事業

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 平成 29 年 4 月 4 日      | 原別稲荷神社 水芭蕉(みずばしょう)ののぼり旗を設置 |
| 5 月 14 日             | 「東岳の四季折々の花々と植生を学ぶ勉強会」      |
| 5 月 28 日             | 東岳登山 ふるさとから見える山に登りました。     |
| 8 月 20 日             | 第 4 回避難所運営訓練 東中学校で行いました。   |
| 10 月 29 日            | 第 6 回 原別地域大収穫祭 東部市民センターで開催 |
| 他に 9 月 3 日と 2 月 17 日 | 「介護予防ヨガ教室」や毎日の登校指導など。      |



# ふるさと 水芭蕉(みずばしょう)案内 4.8

私たちの住むすぐそばにある「原別稻荷神社の水芭蕉(みずばしょう)」。  
観光客に向けて、看板やのぼり旗を設置、春を告げる水芭蕉をPRしました。



## 元気

## 東岳登山

## 5.28

ふるさとで見る山 見守る山へ登りました。登山道はほんの2kmですが、されど2km。



## 健やか 9.3・2.17

### 「介護予防ヨガ教室」

「健康寿命延伸都市」青森市を目指して！  
ヨガで、心も体もリフレッシュ！



ヨガインストラクターは、溝部結子さん。

## 学び

## 5.14

### 「東岳の四季折々の花々と植生を学ぶ勉強会」

講師の東岳登山の写真をしながら  
ふるさとの山の自然と植生を学びました。



講師は、野藤知里さん。  
NPO白神自然学校一ツ森校理事